

令和7年度第2回 佐賀県立博物館・美術館協議会 概要

- 1 開催日時：令和8年3月26日（木）
- 2 会場：佐賀県立美術館ホール
- 3 出席者：委員会 宮島委員（委員長）、渡邊委員、近藤委員、古賀委員、西郡委員、牧本委員、藤生委員、岡本委員、多々良委員、長委員
事務局 福井館長、井田統括副館長、他7名

4 議事

- (1) 令和7年度の事業実施状況
- (2) 令和8年度の事業計画について
- (3) 令和7年度第1回佐賀県博物館協議会及び美術館協議会における主な意見と対応状況
- (4) その他

【委員長】

それでは、議事に入りたいと思います。事務局の方から御説明をお願いいたします。

【事務局】

※別紙資料により説明

【委員長】

ただいま、事務局の方から説明がありました。説明内容について皆様から御意見をいただきたいと思っています。

【委員】

説明を伺い、戦争にかかる展示は珍しいなと思ったところなんですけども、佐賀も空襲があるなどいろんな話がございます。ですから、今後、毎年とは言いませんが（関連展示があってよいのではないか）。ちなみにこちらは何名ほどがお見えになったんですか。

また、七ヶ瀬遺跡のお話をいただきました。鏡・玉・剣がまとまって初めて県内で出土したということでした。写真を見る限りでは、玉は勾玉だったのかなと思いますけど、そのあたりを教えていただければと思います。

さらに、文化庁から、博物館所有物の処分について出ておりましたが、博物館は処分しうかっていうものがあるのかどうか。このあたりをお聞かせください。

【事務局】

一点目について展示室の一つのコーナーでやっておりましたので、ここだけの人数というのは出せないの、ちょっと数字をつかむのが難しいんですが、ずいぶん多くの方にいらしゃっていただいたということで、非常に好評であったというのは聞いております。

今回は館藏品で戦争にまつわるものを（展示しました）。今後、県内の情報も集めて広げ

ていきたいなと思っており今後も続けたいと思っております。

二点目ですけれども、鏡・玉・剣は佐賀ではなかなか出ておらず、吉野ヶ里でもありませんでした。今回それが佐賀で見つかった。弥生時代後期の佐賀の地域勢力を示す資料ということで紹介したいなと思っております。翡翠の勾玉が出ています。

三点目について、先人が残した素晴らしいものを後世に引き継ぐという観点がありますので、また皆様からもいろいろな御意見をいただいて適切に検討していきたいというふうに考えております。

【委員】

美術館ホールのことですが、今回、大掛かりな改修工事に伴う閉室・休館、しばらくの間、ホールが使えない時期がありました。それによって博物館、美術館としての収益に影響はあるのか。また、令和8年度も工事をされるということですが、一時的に閉室・休館となる可能性はあるのでしょうか。教えてください。

【事務局】

県立美術館について、昭和58年以降、年数が経っておりメンテナンスして安全安心にお使いいただけるようにしております。ホールについても、毎年もしくは一年おきぐらいにはやっておりますので、工事をしたことによって収益が大きく変動するというのは、ここ何年かのスパンで見るとあまりないという状況でございます。来年度の工事についても、おそらく、期間をできるだけ短く、細かく何日ということは、今の時点では申し上げることができませんが、皆様の発表の場としての場所をできるだけ確保しつつ、やっていきたいというふうには考えております。

【委員長】

ホームページなどでお知らせする形になりますか。

【事務局】

はい。ホームページでもお知らせさせていただきますし、分かった時点で御相談があった方々についても、それぞれ個別にもお伝えしております。皆様に分かりやすいようにお伝えしたいとは思っております。

【委員】

購入資料ですが、『肥前風土記』が入っていますが、原本ではないですね。

【事務局】

御質問のとおり、原本ではありません。18世紀の刊本です。

【委員】

もう一点、購入資料・寄贈資料で副島種臣の書が大分、入っているかと思えます。予算の中にも副島種臣関連のもので取られている。今後どういうふうに活用する予定なんですか。

【事務局】

副島種臣作品について、近年、未発表のものなど様々なものが見つかりつつあります。そ

ういったものを、購入したり、御寄贈を受けたりそういう機会が最近増えてまいりました。令和10年に副島生誕200年を迎えるということで、当館でも展覧会ができないかということを探索しております。それに向けて、購入、研究、修復、そして記念展の開催ということを設定で考えているところでございます。

【委員】

令和10年、楽しみにしております。ありがとうございます。

【委員】

県内の学校団体利用に関して、ミュージアム・キャラバン隊は非常に生徒たちが興味を持って活動をしてくれた。実施数が減少しているようなのですが。

また、美術館2階の画廊について、エレベーターの設置というのがあります。2階で紹介をしても、高齢者の方、階段を登るのが厳しい方は、見ないで帰っていかれる。エレベーターを使えますと案内しても、待ち時間が長く、「もういいです」と帰っていかれる方がいらっしやいます。エレベーターについて見通しがあれば、お聞かせ願いたいと思います。

【事務局】

一点目のキャラバン隊は、募集を毎年同じようにしておりますが応募数が減っています。もともとは我々が出向いて行って、絵の鑑賞に興味を持っていただいて、学校単位、もしくは家族で博物館・美術館に来ていただくということを目的にしていたんですが、最近は博物館・美術館に遠くて来れないからお声がけをいただくというケースに、移り変わってきたのかなということを感じているところでございます。どういう形がいいか、事業の見直しをさせていただいているところでございます。またアイデア等ございましたら、御助言いただくとありがたく存じます。

二点目のエレベーターについては、今まではエレベーターのあるなしだけで議論していたのですが、そうでないやり方ができないのか、検討しております。

【委員】

キャラバン隊に関係しますが、高校、中学校など、芸術鑑賞会を年に1回、いろんな分野の方を呼んでなど、講演会とか、コンサートとかいろいろやっています。そういったところにも入っていく手があるのかなというふうに思いました。

【事務局】

ありがとうございます。それも含めまして、きちんと検討したいと思っております。

【委員】

常設展示について、佐賀県の方が初めて来た時は非常にいいなと思うんですけど、いつもいる我々はあそこをなんかもう見ずにスルーしてしまうような気がしておりますので、工夫できないかと。思いつきですが。

【事務局】

御意見ありがとうございます。それ以外のところで目先を変えさせていただき、例えば先ほどの戦争関連の資料などいろいろ考えたいと思っております。

【委員】

展示台がきれいだと、作品も生きて見えるというか、そんなふうに使っていたので（クロスの新調などを）。

OKADA-ROOM も好きで、よく見に行いますが、例えば岡田三郎助関連の人物へ派生していくと、また楽しみが少しずつ広がるかなと思います。

【事務局】

岡田作品については今、鋭意、収集しています。岡田は女性の画家たちを育てたというふうに思っておりますので、今後そうした観点の展示というのは積極的にやっていきたいというふうに思っております。

クロスの経年劣化については鋭意作り変えていっているところですが、まだまだちょっと追いついていないかなというところがあります。御意見を伺い、鋭意努力するというところで、御理解いただきたいと思えます。

【事務局】

協議会はこれまで年 2 回実施させていただいております。今後は年に 1 回以上開催という形の運営でお願いできないかなということをお相談させていただきたいと考えております。

【委員長】

今まで年 2 回開いている形だったのを 1 回以上ということで、基本的には 3 月に開くということで、変更していきたいという事務局からの御提案ですけれども、何か意見ございますか。他館でもそういう傾向になりつつあるんですか。

【事務局】

名護屋城博物館は 1 回以上という形です。佐賀城本丸歴史館も同じように 1 回以上ということになっていますし、図書館協議会も 1 回以上ということで変更になっております。

【委員長】

以上のような状況ですが、何か御意見ございますか。（異議なし）

皆さん、御了承いただいたということでよろしいかと思えます。

以上で、すべての議事を終えましたので、事務局の方にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

【事務局】

委員長におかれましては議事の進行をありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間にわたり御協議をいただきましたことをお礼申し上げます。ありがとうございます。本日いただきました委員の皆様からの貴重な御意見、御提言につきましては、今後の博物館、美術館の運営に活かしていきたいと考えております。本日は誠にありがとうございました。